

産業医学のプリンシプル～大切なこと ◎ 目次

はじめに 櫻井 治彦 i

<産業医学ジャーナルと産業医学振興財団の40周年によせて>

加藤 勝信 (厚生労働大臣) ix
横倉 義武 (日本医師会 会長) x
森 山 寛 (学校法人産業医科大学 理事長) xi
有 賀 徹 (独立行政法人労働者健康安全機構 理事長) xii

I 俯瞰：産業医学振興財団の40年 1

産業医学振興財団の40年 (及川 桂) 3

1. 産業医学振興財団の設立…3 / 2. 産業医科大学に対する助成…3 /
3. 産業医学の振興を図るための諸事業…4 / 4. 財団の運営・管理体制
について…7 / 5. 産業医学ジャーナルの40年…8 / 6. おわりに—産業
医学振興財団の40年を振り返って…8

ともに歩む① 日本医師会 (松本 吉郎) …10

II 道 標：インタビュー・産業医学の研究と実践 15

1. 櫻井治彦先生に聞く—研究者としての歩みと産業医学— (聞き手：及川 桂) 17

1 研究者としての歩み…17
2 化学物質管理に関して今後必要な学問…22
(1) 化学物質の有害性 (毒性) を知ることについて / (2) 化学物質
による健康影響を測定する方法について / (3) 化学物質によるばく露
を測定する方法について / (4) 疫学研究について
3 産業医学のプリンシプル…24

2. 大久保利晃先生に聞く—産業医の研究・教育・実践をめぐる— (聞き手：及川 桂) 30

1 研究者、教育者としての歩みと産業医学…30
(1) 衛生学を志した動機など / (2) 産業医活動の経験 / (3) 産業
医大へ～草創期の苦労
2 産業医学とは何か～経験を通じて作り上げられた産業医活動の体系化…35
(1) 産業医活動の確立と体系化 / (2) 産業医と臨床医 / (3) 産業
医学の定義をめぐる / (4) 産業医学の諸側面

3 産業医の専門性の確立のために…46

(1) 産業医をめぐる諸制度確立へのかかわり / (2) 産業医の専門性を考えるにあたって / (3) 産業医活動と事業者 / (4) 今後に向けて

ともに歩む② 産業医科大学 (東 敏昭) …58

Ⅲ 視 座：座談会「産業医学のプリンシプル～大切なこと」をめぐる 63

参加：土肥誠太郎 (司会) / 岡田 邦夫 / 川上 憲人 / 櫻井 治彦 / 東川 麻子 / 堀江 正知 / 山田 誠二

1. はじめに～変化と展望 …… 66
〈産業医・産業保健を取り巻く状況の変化と今後の展望〉 / 〈新しい産業医像のイメージ〉
2. 産業医学の課題と対応 …… 76
〈研究：産業医学に求められる研究とは〉 / 〈教育・育成：産業医の教育・育成、研修に何が求められるか〉 / 〈普及：小規模事業場への質の高い産業保健を提供するために〉
3. おわりに～産業医学のプリンシプル …… 93

ともに歩む③ 労働者健康安全機構 (小川 裕由、大西 洋英) …98

Ⅳ 航 跡：産業医学ジャーナル、産業医学振興財団と産業医学の 40 年 103

産業医学ジャーナル、産業医学振興財団と産業医学の 40 年 (山田 誠二) …… 105
はじめに－「産業医学ジャーナル」の発刊の意義と目的…105 / 1. 拡大する法律である労働安全衛生法…105 / 2. 『産業医の職務Q & A』からみた産業医の職務の変遷…107 / 3. 健康障害の原因調査及び再発防止のための措置…110 / 4. 安衛法第 66 条「健康診断」の変遷…111 / 5. 定期一般健康診断の目的と検査項目の変遷…114 / 6. 特殊健康診断…116 / 7. 労働災害防止計画…122 / おわりに…126

ともに歩む④ 日本産業衛生学会－産業医制度 (圓藤 吟史) …127

Ⅴ 視 角：主要テーマの今後に向けて 131

1. 産業医制度、産業医・産業保健活動 …… 133
法令による産業医と労働衛生の歴史 (堀江 正知) …133
産業医の倫理 (堀江 正知) …136

産業医育成の現状と課題（森 晃爾）	…138
新専門医制度の現状と課題（大神 明）	…141
多様な労働形態への対応（廣 尚典）	…143
女性労働者における健康確保上の課題と対応（長井 聡里）	…146
高齢労働者における産業保健上の課題と対応（竹田 透）	…148
障害者雇用における産業保健上の課題と対応（森田 哲也）	…150
若年労働者の特徴と産業保健（大久保 浩司）	…153
中小企業における産業保健活動の展開（森口 次郎）	…156
農業における安全衛生を考える（松川 岳久、横山 和仁）	…159
IT企業の産業保健の現状と課題（城戸 尚治）	…162
職場における感染症対策の今後（濱田 篤郎）	…165
過重労働・長時間労働対策／過労死対策の動向と展望（宮本 俊明）	…167
産業歯科保健の現在とこれから（加藤 元）	…170
職域における救命・救急の重要性（南 浩一郎）	…172
職業性ストレスの測定と評価（小田切 優子、井上 彰臣）	…174
職域に活かすポジティブ・メンタルヘルスの視点（島津 明人）	…177
労働者の健康保持増進の今日的課題（三崙 明）	…180
毒性学を産業保健にどう活かすか（柳澤 裕之）	…182
臨床医学の成果を産業保健活動に活かす（岡田 章）	…184
産業保健に生理学をどう活かすか（上田 陽一）	…186
マネジメントシステムによる産業保健（永田 智久）	…188
健康情報の保護と今後の課題（柴田 英治）	…191
これからの産業医・産業保健活動のための労働安全衛生統計（堤 明純）	…193
産業保健専門職のための労働衛生教育の手法	
～ Instructional Design (ID) の知見を拠り所に～（柴田 喜幸）	…196
健康経営の推進と産業保健（岡田 邦夫）	…199
産業保健活動をどのように評価するか（森 晃爾）	…201
新しい労働時間管理の考え方と産業保健（久保 智英）	…203
職域からのエビデンスの発信（溝上 哲也）	…206
健康診断機関のサービス－仮題と展望（森口 次郎）	…208
我が国の外部 EAP の発展（前田 一寿）	…210
多職種連携を考える－産業看護職の立場から（中谷 淳子）	…213
多職種連携を考える－心理職の立場から（森崎 美奈子）	…215
多職種連携を考える－衛生管理者の立場から（對木 博一）	…217
多職種連携を考える－ハイジニストの立場から（橋本 晴男）	…219
多職種連携を考える－人事労務の立場から（安福 慎一）	…222
多職種連携を考える－社会保険労務士の立場から（脊尾 大雅）	…224
多職種連携を考える－産業医の立場から（加部 勇）	…226

2. 職場の有害要因と健康確保	228
許容濃度（曝露限界値）のあり方を巡って（武林 亨）	…228
粉塵ばく露をどう評価するか（相澤 好治）	…230
職業がんの現状と課題（清水 英佑）	…232
個人曝露測定は労働衛生管理の基本ツール（熊谷 信二）	…234
生物学的モニタリングと産業医活動（川本 俊弘、辻 真弓、田中 里枝）	…237
安全衛生保護具の過去・現在・未来（田中 茂）	…240
化学物質に関わる産業疫学研究における企業との連携（大前 和幸）	…242
ナノマテリアルの吸入ばく露と生体影響（森本 泰夫、和泉 弘人、西田 千夏）	…244
石綿関連疾患研究の現在（岸本 卓巳）	…247
振動障害対策のこれまでとこれから（宮下 和久）	…251
福島原発事故後の放射線行政とリテラシー（岡崎 龍史）	…254
騒音障害防止のための対策（伊藤 昭好）	…256
暑熱・寒冷環境下での作業のリスクと対策（澤田 晋一）	…258
職場の有害光線による障害とその予防対策（奥野 勉）	…262
3. 産業医学の新たな課題	265
災害時の産業保健（久保 達彦、立石 清一郎、森 晃爾）	…265
学としての産業看護—未来に向けて（河野 啓子）	…267
産業現場における心理職の今後—公認心理師の動向とともに（廣川 進）	…269
法律論者からみた産業医の今とこれから（三柴 丈典）	…271
産業保健分野におけるビッグデータの構築と活用可能性（松田 晋哉）	…275
診療ガイドラインを産業医学の側から読む（山口 直人）	…277
健康格差と産業保健（川上 憲人）	…279
遺伝子検査が産業保健にもたらすもの（加藤 貴彦）	…281
メタボロミクスと産業医学	
— MOCA 曝露のメタボロミクス例—（山野 優子、山内 武紀）	…284
プレゼンティーズムと産業保健（藤野 善久、久保 達彦、榎島 美佐子、松田 晋哉）	…286
失業による健康影響研究の現在（石竹 達也）	…289
多様化する職域保健の課題と働く人の健康・安全・well-being（岸 玲子）	…292
世界の産業保健（東 敏昭）	…294

ともに歩む⑤	中央労働災害防止協会—安全衛生協働化時代に向けて—（八牧 暢行）	…296
--------	----------------------------------	------

VI 展 望：産業保健と私	301
---------------	-----

労働衛生行政に携わって

（鶴田 憲一、中林 圭一、鈴木 幸雄、加藤 誠実、椎葉 茂樹、泉 陽子、神ノ田 昌博）…303

すべての働く人に、産業保健サービスを

～多職種連携でILO161号条約批准へ（五十嵐 千代）…307

産業医学：管見と提言（池田 正之）	…309
小規模事業場に光を当てるには（石渡 弘一）	…310
振動障害の思い出。（井上 尚英）	…312
夢想家は何を考え、何をしてきたのか（埋忠 洋一）	…313
すべての働く者に産業保健サービスを（圓藤 吟史）	…316
臨床医・産業医、問われる連携力（織田 進）	…317
世界と日本を産業保健で繋ぐ（唐沢 正義）	…318
生物学的モニタリング研究 47 年（河合 俊夫）	…319
現場労使の取り組みを支える産業保健（川上 剛）	…320
臨床医から大学の産業医へ（黒澤 一）	…321
変化する労働現場と産業保健の課題（甲田 茂樹）	…322
産業保健の勉強とパートナー（小木 和孝）	…323
産業医の中立性・独立性を考える（斉藤 政彦）	…324
激変する経営環境における産業保健への期待（柴田 光義）	…325
新興国における勤務者のための大気汚染対策（島 正之）	…326
近未来の夢物語の実現に向けて～すべての労働者の健康を願って（菅原 保）	…327
繊維状物質による健康障害の予防に向けた取り組みと課題（高田 礼子）	…329
労働衛生の世界への貢献に期待（竹内 康浩）	…330
AI 時代の産業保健の課題（徳永 力雄）	…331
産業看護の機能と役割（中谷 淳子）	…332
動物が守る労働者の健康（長野 嘉介）	…333
予防と治療と産業保健（能川 浩二）	…334
小規模事業場の産業保健（野見山 哲生）	…335
労働を通じて QOL の向上をめざす（畑中 純子）	…336
時代は「アウトプット産業医」から「アウトカム産業医」を求めている（浜口 伝博）	…337
私の生涯の責務－全ての臨床医に産業医学の視点を！（広瀬 俊雄）	…338
産業保健と私－信 任（藤代 一也）	…339
口腔保健の推進とコンサルタント活動（藤田 雄三）	…340
工業団地の産業保健と向き合い 30 年（北條 稔）	…341
産業医学・分子毒性学に関わる教育研究活動（松岡 雅人）	…342
産業保健と宇宙開発－現代社会とこれからの産業医学（松崎 一葉）	…343
産業医業務における職場復帰と就労支援（三好 裕司）	…344
化学物質管理を中心とした産業保健（労働衛生）の変遷と私（山田 憲一）	…346